

令和7年度シリーズ「人間環境学」について

1. 学期・時限：前期・水曜日 4 時限目（14:50～16:20）

2. 教室：イーストゾーン 大講義室 I

3. テーマ：Well-being（ウェルビーイング）と人間環境学

昨今、国や地域の豊かさを表す基準として、これまで経済的な指標である GDP（国内総生産）が取り入れられてきた。しかし、この指標は本来生産量を把握するための指標であり、生活の豊かさや幸福度を理解するうえでは不十分であることから、昨今、Well-being（ウェルビーイング）なる概念がクローズアップされるようになった。

「ウェルビーイング」については、WHO（世界保健機関）による定義をはじめ、学術的にも様々な定義がなされているが、それらを包括的に整理すると、単に身体的・精神的な健康だけでなく、社会的なつながり、経済的な安定、さらには環境や倫理的な意識とも関わり、多面的な要素から成り立っている。こうした複雑な概念を理解するためには、心理学や社会学、哲学、建築学、経済学、教育学などの異なる学問分野から考察することが求められる。

令和7年度のシリーズ「人間環境学」では、「Well-being」をテーマとし、人間環境学を構成する多様な分野の教員がその専門分野の視点から Well-being について論じる。本授業を通じ、人間環境学に関わる多様な視点やアプローチを学び、異分野との相互理解や協働基盤を築くとともに、自発的かつ批判的な思考力を養うことを期待する。

4. 授業日程

回	月日	専攻等	担当教員	テーマ
01	4/9	行動システム専攻	池田 浩	全体説明
02	4/16	都市共生デザイン専攻	當眞 千賀子	人がすこやかに育つということ
03	4/23	都市共生デザイン専攻	重藤 迪子	自然災害とウェルビーイング
04	5/7	人間共生システム専攻	古賀 聡	心理リハビリテーションによる重度重複障害者と家族の生涯発達支援
05	5/14	人間共生システム専攻	井上 智史	福祉社会学の射程
06	5/21	行動システム専攻	伊藤 崇達	Well-being と自律的動機づけ —こころのサポートをめぐる—
07	5/28	行動システム専攻	小木曾 航平	Well-being と Spirituality の文化史的関連性
08	6/4	教育システム専攻	岡 幸江	Wellbeing と社会教育
09	6/11	教育システム専攻	清水 良彦	学校・教師・子どもと Well-being
10	6/18	空間システム専攻	末廣 香織	被災者のための仮設住居の現状と学生による生活環境支援
11	6/25	空間システム専攻	有馬 雄祐	住環境のウェルビーイング

12	7/2	空間システム専攻	松尾 真太郎	建築の構造・材料とウェルビーイング
13	7/9	実践臨床心理学専攻	佐々木 玲仁	カウンセリングがいらなくなる時
14	7/16	行動システム専攻	池田 浩	全体のまとめ
15	7/23	人間環境学府		人間環境コロキウム

➤ お知らせ

- (1) 授業形式は「対面」と予定しています。（オンラインに変更の場合は事前に通知します）
- (2) 受講生の出欠について、それぞれご担当の先生方で確認と記録をお願いします。
- (3) 成績評価は、各授業への取り組み状況（Moodle 上での授業後の感想、質問などをもとに評価）がおおむね 50%、中間グループワークへの参加・発表、最終グループワークへの参加・発表がおおむね 20%、レポート課題がおおむね 30%、等をもとに総合的に行います。
- (4) 本授業の詳細については Moodle のコース「2025 年度前期・水 4・人間環境学（池田浩）」を参照すること。
- (5) 本授業の最終回に「人間環境学コロキウム」を実施する。「人間環境学コロキウム」は、学生が主体となって企画・運営する学術セミナーである。学内外から講師を招いて、人間環境学に関わる多様な話題について議論し、各学生の専門分野を超えた学術交流を図り、「人間環境学」の視点に立った研究の進展と、それを支える人材の育成を目差している。詳細は、人間環境学府のウェブサイトを参照すること：<https://www.hues.kyushu-u.ac.jp/colloquium/>
近年はシリーズ「人間環境学」の発展形として「人間環境学コロキウム」を捉え、翌年度の「人間環境学コロキウム」を企画・運営する実行委員会の学生委員を募っている。